

地域間幹線系統別確保維持計画

令和 8 年 5 月 日

(住 所) 東京都江東区塩浜 2-18-13
 (名 称) ジェイアールバス関東株式会社
 (代表者名) 代表取締役社長 小埜 隆一 印

1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 諏訪湖周スワンバス 内回り線
 運 行 区 間 : 岡谷駅南口～岡谷駅南口
 計 画 期 間 : 令和 8 年 1 0 月 1 日～令和 1 1 年 9 月 3 0 日

2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

本系統は、諏訪湖を周回しながら岡谷市・諏訪市・下諏訪町の 3 市町を結ぶ地域間幹線交通として、各市町民の日常生活を支える生活交通の役割を担っている。また、当該地域は博物館等の観光施設や四季折々の自然景観、温泉等の地域資源、日本酒、味噌、うなぎ等の地場産品にも恵まれ、観光客等地域外からの来訪者の移動手段としても利用されている。

運行経路上、上諏訪駅から下諏訪駅を経由して岡谷駅まで向かう区間は J R 中央東線と並行しているが、J R が当該区間に 3 駅を設けているのに対し、本系統は 3 駅に接続するとともに 6 0 ヶ所の停留所を設け、鉄道の機能と連携しつつ沿線住民の日常生活の移動を支援している。

岡谷駅から S U W A ガラスの里を経由して上諏訪駅に向かう区間は鉄道網が整備されていないことから、地域間を結ぶ移動手段である唯一の公共交通機関として、地域住民の生活を支えている。さらに、各市町で運行している生活路線（シルキーバス、かりんちゃんバス、あざみ号）と一体となった地域内生活交通網を形成するため、3 市町において、J R の各駅、停留所で乗り換えができる運行形態を整備している。

運行経路の沿線には、官公庁、金融機関、温泉施設等の公共施設、総合病院、商業施設があることから、地域高齢者の利用が増えている傾向にある。また、人口推計を見ると今後 3 市町ともに高齢化が進展する傾向にあり、運転免許証自主返納の動きが進んでいる状況下において、高齢者の買い物や通院等の外出を促進するうえで本系統の確保維持は地域住民の生活交通手段として非常に重要である。

3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

(1) 運行の目標

生活路線として、利用が多い高齢者を中心に利便性の良い公共交通サービスを継続的に提供し、輸送量 15.0 以上を維持する。

(2) 運行による効果

本システムを維持する事により、3市町の高齢者等の移動手段が確保される。
幹線および支線のネットワークが連携することで、効率的な運行が実現でき、買い物・通院・社会参加といった日常生活に必要な外出や移動を支援する効果が期待できる。

4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

岡谷市・諏訪市・下諏訪町とジェイアールバス関東株式会社が主体となり、各市町のコミュニティバスとの連携により利便性の向上を図る。

○利用増を目的としたPR事業の実施（市町）

諏訪湖周2市1町管内高校に通う高校生や中心的な利用者である高齢者に対して、公共施設等でバス利用促進ポケットティッシュや時刻表を配布し、引き続き利用促進のPR活動を実施する。

○Google マップへの路線掲載継続（市町）

乗客に対するバスの利便性向上を目的とし、Google マップで目的地を検索した際に各市町のコミュニティバスおよびスワンバスの運行時間や運行経路、停留所の位置が表示される仕様とする。

○デジタル乗車券発行事業（市町）

高校生や観光客等の利便性の向上を図るため、スマートフォンにより1日券・回数券を発行できるアプリケーション（バスもり！）を継続運用する。

○バス利用者の利用満足度向上事業（事業者）

バス利用満足度に大きな影響を与える運転士による接客サービスを向上するため、今まで以上に接遇研修を行う。また、周辺施設（官公庁やホテル等）にアクセスするバス停を案内するマップを作成および配布する。

5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R8. 10～R9. 9	円 28,215,812	円 6,686,000	円 6,686,000	円 14,843,812	円 0
R9. 10～R10. 9	円 28,215,812	円 6,686,000	円 6,686,000	円 14,843,812	円 0
R10. 10～R11. 9	円 28,215,812	円 6,686,000	円 6,686,000	円 14,843,812	円 0

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

6. 収益改善のために行った取組状況

- 分かりやすい時刻表や乗り換えマップ等の無料配布
- 運転免許証返納者に対し、バス利用を促すための無料回数券配布
- 高齢者でも乗降しやすいバリアフリー車両（ノンステップバス・車いすの車内固定）の運行
- 3市町内高校にて、スマートフォンで利用可能なデジタル回数券の利用促進チラシの配布

7. 生産性を向上する取組
(1) 取組内容
○乗降調査を実施し、乗客のニーズに合わせたダイヤの見直し等を行うことで輸送量の向上を図る。 ○職場内研修等によるエコ運転を実施し、燃料費等の経費削減を図る。 ○デジタル回数券等の導入により、運転手の業務環境の改善を図る。
(2) 実施主体
ジェイアールバス関東株式会社
(3) 定量的な効果目標（収支改善率１％以上を原則）
上記の取り組みを実施することにより収支率を対前年１％以上の改善。
(4) 実施に向けたスケジュール
令和８年１０月～効果目標（収支改善率１％以上）達成に向け随時協議を行う。 令和９年１～３月を目途に乗降調査を実施。 令和９年５～６月の１ヶ月間を利用促進啓発運動 通年において時刻表及び諏訪湖周観光マップの配布
(5) 実施時期
上記の日程で実施
(6) その他特記事項

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について
【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表５に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 諏訪郡下諏訪町広瀬町５３２５

(所 属) ジェイアールバス関東(株)諏訪支店

(氏 名) 吉田 岳史

(電 話) 0266-27-8673

(F A X) 0266-27-4027

(e-mail) suwa@jrbuskanto.co.jp

地域間幹線系統に係る市町村等の協議状況

令和8年5月 日

(住 所) 東京都江東区塩浜2-18-13
(名 称) ジェイアールバス関東株式会社
(代表者名) 代表取締役社長 小堀 隆一 印

1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 諏訪湖周スワンバス 内回り線
運 行 区 間 : 岡谷駅南口～岡谷駅南口
計 画 期 間 : 令和8年10月1日～令和11年9月30日

2. 協議会等の開催状況

令和8年5月25日 岡谷市地域公共交通活性化協議会
書面協議による協議会開催

3. 協議会等における主な議論

スワンバスは、住民生活の移動手段として欠かせない交通手段となっているため、安定的な運行継続が必要である。また、運行地域の高齢化率は高く、運転免許証返納者も増加しており、外出する際の交通機関として必要不可欠な路線となっている。

その中で、持続可能な公共交通を目指し、財政的な負担軽減を図るためには地域幹線系統補助対象路線として位置付け、路線を維持していただきたい。

4. 利用者等の意見の反映

利用者からのアンケートでは、「便利でありがたい」「是非継続していただきたい」「便数をもっと増やしてほしい」等の意見があることから、関係機関が連携して利用促進を図ることで、諏訪湖周スワンバスを継続的に運行していきたい。

5. 協議会等による利用促進等の取組

幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果を達成するため、利用者の意見を聞くことで利便性の高い公共交通サービスを目指す。また、協議会として更に協議を深めるとともに新たな利用者を増やすため、バス利用のPR事業も実施していく予定。

6. 前期の利用促進等の取組の振り返り

- 中心的な利用者である高齢者に対し、バス利用促進ポケットティッシュの配布
- 諏訪エリアの観光客を取り込むため観光マップ作成・配布
- バス利用者の利用満足度向上のための乗降調査
- 低床バスの運行

7. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	長野県諏訪建設事務所維持管理課、長野県諏訪地域振興局企画振興課
関係市区町村	岡谷市産業振興部商業観光課、企画政策部企画課、健康福祉部社会福祉課、建設水道部土木課
交通事業者・交通施設管理者等	アルピコ交通株式会社中南信支社、ジェイアールバス関東株式会社諏訪支店、アルピコタクシー株式会社諏訪支社、諏訪交通株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、国土交通省関東地方整備局長野国道事務所、岡谷警察署
地方運輸局	国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	岡谷市福祉有償運送運営協議会、岡谷商工会議所、岡谷市区長会、岡谷市高齢者クラブ連合会、岡谷市消費者の会、岡谷市民代表、諏訪市民代表、下諏訪町民代表